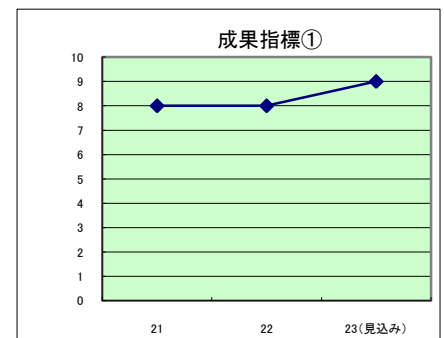
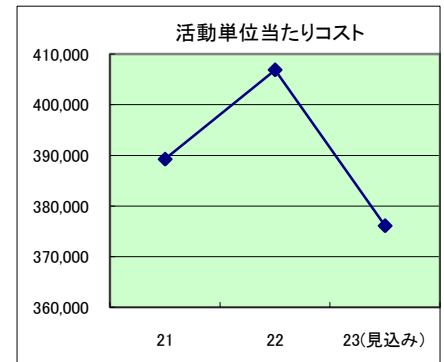


事務事業名		文化財保存助成事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	款	10	教育費	
	施策(節)	5	市民文化・芸術	項	5	社会教育費	
	施策の方向	(1)	歴史的資源を活かしたまちづくりの推進	目	4	文化財保存事業費	
	関連する計画等			事業	2	文化財保護	
対象(誰を・何を)				作成部署	教育委員会事務局生涯学習室社会教育課(歴史文化推進室)		
重要文化財、指定文化財を所有、管理する個人または団体				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4482		
意図(どういう状態にしたいのか)							
市内の重要・指定文化財について、適切に管理、保存し見学できる等の活用を図る。							
重要文化財、指定文化財を所有、管理する個人または団体に対して助成金を交付し、文化財の維持、補修、公開のための環境整備を行う。(吉村家住宅・菅田八幡宮・壺井八幡宮・野中寺・西琳寺・長円寺・法泉寺・畑田家住宅)							
根拠法令等				文化財保護法・羽曳野市文化財保護条例・羽曳野市文化財保存事業費補助金交付要綱			
事業開始時期				☐ 昭和 2 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 終了年度 平成 年度 ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()			
委託先				委託内容			
☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他							

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		1,239	1,239	1,369	
人件費【2】 (千円)		1,875	2,016	2,016	
職員数	正規職員	0.25 人	0.28 人	0.28 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		3,114	3,255	3,385	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	3,114	3,255	3,385	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 指定文化財の助成		件数	8	8	9
②					
③					
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		389,250 円	406,875 円	376,111 円	
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		26 円	28 円	29 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	指定文化財助成件数 (式)	件数	助成により指定文化財の改修・保存が行われ見学者の安全が確保される。	目標	8	8	達成率(%)	9
					実績	8	8	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	指定文化財の保存を図るとともに公開のための環境整備を行う。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	文化財見学者は毎年増加傾向にあり、安全対策、清掃等の環境整備を実施するための助成を行っている。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	要綱を定めており、予算の範囲内で効率良く助成を行っている。他課より同一の神社、仏閣に補助する事業があり申請手続きの簡略化等の視点から、整理が必要である。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
		市の他事業と重複していない	☐	☒	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市の文化財を後世に伝えていく上で重要である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☐	☒	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	重要文化財等の清掃が行われ、また見学者の安全が確保されている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☐	☒	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	毎年多くの人々が文化財の見学に訪れており、安全に見学できるよう環境整備に貢献している。他課より同一の神社、仏閣に補助する事業があり申請手続きの簡略化等の視点から、整理が必要である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 文化財所有者に対して適切な助成を行っていく。平成23年度からは、市民協働ふれあい課の補助金である羽曳野市市民活動環境整備事業補助金と統合し、新たに大津神社の助成を行う。	
	行本部評価	

☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善
☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了